

初雁自由政令会 **牛窪喜史**

情報格差の諸課題について 6



問 今後ICT化が進み、誰もが必要な情報から取り残されることが川越市として重要だと考えるが市長の意見を伺う。

答 市長 本市では川越市DX推進宣言の下、引き続き、ICT等の活用により市民や事業者のさらなる利便性の向上に向け、利用者ニーズに即したDXを推進することとしている。

情報提供においてもICT化を進めるに当たっては、適切に市民ニーズを把握し、利用者の目線に立った媒体を活用することで、誰もが必要な情報から取り残されることがないように取り組んでいきたい。

📌情報格差の諸課題

公明党 **嶋田弘二**

食品ロス削減について 8



問 企業・商店などから提供された食料品等を、必要としている親子に随時提供可能な公共冷蔵庫の設置や運営等に関する支援について、市の考えを伺う。

答 環境部長 公共冷蔵庫の設置等に関しては、食品ロス削減や食べ物を必要としている人への支援の観点から、有効な取り組みと認識している。しかしながら、公共冷蔵庫の設置場所はどこが適切で何カ所必要か、企業等から寄付される食品の受け取り方法などについて、種々の課題があると考え。今後は、先進的に公共冷蔵庫を設置している自治体の事例を参考にしながら、公共冷蔵庫の在り方等について調査研究していく。

📌食品ロス削減

公明党 **鈴木謙一郎**

仙波河岸史跡公園の活用 10



問 歴史的意義が深く、駅からも近い、仙波河岸史跡公園をもっと利活用した方が良く考えるが、市としての考え方を伺う。

答 都市計画部長 仙波河岸史跡公園は、本市でも特色がある公園の一つで、歴史を体感し、学習をする場であるとともに、貴重な自然と触れ合える場、自然観察の場としても利活用できるため、周辺の歴史的な遺構と連携を図りながら、公園の魅力を周知し、多くの市民に利用してもらいたいと考えている。

併せて、身近な公園として、地域住民が利用しやすい管理をすることにより、利用促進を図りたい。

📌仙波河岸史跡公園の活用 📌道路維持管理

川越志政会 **中野敏浩**

市内事業者への支援 7



問 本市は企業誘致を推進しているが、既存企業や今後誘致する企業が持続可能であるためには、市においての事業者支援が必要と考えるが市の認識について伺う。

答 宮本副市長 川越商工会議所や市内工業団体等と意見交換を行っている中で、人材確保、人材育成、離職の防止といった問題が課題となっていると認識している。

これまでは求職者側の観点から、雇用支援事業を開催してきたが、事業者側の観点からの人材確保、人材育成、離職者の抑制といった支援策についても、市内事業者の事業継続や企業誘致に当たり必要な施策と考え、求職・求人の両方の観点から支援施策について検討していく。

📌2024年問題

公明党 **須藤直樹**

校内学習室のさらなる充実 9



問 「個別最適な学び」の視点で校内学習室を充実させる必要があると考えるが、運営上の課題を踏まえ、今後どのように取り組んでいく考えを伺う。

答 学校教育部長 児童生徒が安心して、自分の学習ペース、幅広い興味・関心に応じた学びを進めることで、自分自身でやり遂げた、学ぶことが楽しい、ここでなら安心できる、ここでなら頑張れる、と感じることができるようになりたい。児童生徒一人一人の幅広いニーズに対応していくことや、校内学習室の開設日数・時間が限られているという課題を解決していくため、常駐できる元教員を含め、人材確保に努めていく。

📌校内学習室不登校支援

公明党 **中村文明**

防災対策のさらなる強化を 11



問 大切な市民の命を守るためにも、備蓄品の見直し、学校運営、避難経路も含めて、今後の川越市の防災対策のさらなる強化が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答 危機管理監 市では、川越市地域防災計画に基づき、防災・減災対策に取り組んでいるが、被害を最小限に食い止めるには、ハード対策とともにソフト対策の両面の対策が必要である。また、国や県、周辺自治体等との連携、市民や地域等の防災意識の高揚や、自助・共助による防災力の向上も不可欠である。今後、各地で発生した災害での事例なども参考にしながら、本市の防災対策のさらなる強化を図っていく。

📌川越市の防災対策 📌子どもを守る安全対策